

所属：人文学部・人文社会科学研究所 文化学科 日本研究 日本史学・中世史学

 教授 **山田 雄司** (やまだ ゆうじ)

カテゴリ) 歴史・社会・地理・文化、教育学・心理学・哲学

《一言アピール》 伊勢国の信仰・文化などについて研究しています。伊賀連携フィールドにおいて忍者・忍術に関する研究も行っていきます。

研究テーマ

Research Themes

■ 怨霊・御霊研究

早良親王・菅原道真・崇徳院・後鳥羽院・後醍醐天皇怨霊の研究、日本人の霊魂観や神観念に関する研究

■ 日本中世信仰の研究

伊勢信仰・熊野信仰・北野天満宮に関する研究、陰陽道・神仏習合・時宗・浄土真宗に関する研究

■ 忍者・忍術研究

呪術・修験道などの思想研究、伊賀者に関する研究、忍者の実態に関する研究

応用分野

- 中世の信仰に関する研究
- 霊魂観に関する研究

社会活動

- 伊賀連携フィールド運営委員
- 放送大学非常勤講師
- 栄中日文化センター講師

三重大学全学シーズ集HPより→

著書

- 『跋扈する怨霊』(吉川弘文館、2007年)
- 『崇徳院怨霊の研究』(思文閣出版、2001年)

論文

- 「怨霊—『今昔物語集』の事例を中心に—」(上杉和彦編『経世の信仰・呪術』竹林舎、2012年)
- 「怨霊の思想」(苅部直・黒住真・佐藤弘夫・末木文美士・田尻祐一郎編『日本思想史講座1 古代』ペリかん社、2012年)
- 「初期足利政権と北野社—御師職を中心に—」(山本隆志編『日本中世政治文化論の射程』思文閣出版、2012年)
- 「西島八兵衛の事績」『三重大学歴史都市研究センターニュースレター』第2号、2012年
- 「怨霊研究の諸問題」(小松和彦編『妖怪文化の伝統と創造—絵巻・草紙からマンガ・ラノベまで—』せりか書房、2010年)
- 「怨霊から神へ—菅原道真の神格化—」(『日本歴史』746号、2010年)
- 「直島における崇徳院伝承」(『三重大史学』10号、2010年)
- 「怨霊と怨親平等との間」國學院大學研究開発推進センター編『霊魂・慰霊・顕彰—死者への記憶装置—』(錦正社、2010年)
- 「鎌倉時代の怪異」(東アジア怪異学会編『怪異学の可能性』角川書店、2009年)
- 「鈴鹿峠と坂上田村麻呂」(『三重大史学』8号、2008年)
- 「中世伊勢国における仏教の展開と都市」(『都市をつなぐ』〈中世都市研究13〉新人物往来社、2007年)

講演実績

- 2011年11月 伊賀の國地名研究会講演会2011「鈴鹿峠の鬼と山賊」
- 2011年9月 「発見塾」歴史に見る日本人の霊魂観 (ほか、2枚目以降につづく)

関連ホームページ

- 日本中世史(山田雄司)研究室 <http://onryo.syuriken.jp/>
- 三重大学人文学部文化学科日本研究(コース紹介) <http://www.human.mie-u.ac.jp/gakubu/gakka/japan.html>
- 三重大学人文学部文化学科日本研究(教員紹介) <http://www.human.mie-u.ac.jp/gakubu/staff/japan.html>
- 三重大学教員紹介 <http://kyoin.mie-u.ac.jp/profile/2287.html>

☆詳細は、HPをご覧ください。



講演実績 つづき

- 2011年6月 伊賀市文化フォーラム2011「怨霊の鎮魂」
- 2011年6月 平成23年度第1回世界遺産セミナー『熊野古道と文化的景観』「中世社会における熊野の意義」

所属学会

- | | | |
|-----------|-------------|--------------|
| ■ 日本歴史学協会 | ■ 日本史研究会 | ■ 日本宗教学会 |
| ■ 神道史学会 | ■ 日本宗教文化史学会 | ■ 日本仏教総合研究学会 |